

「(仮称)鶴見川人道橋」下部工工事 工事説明資料

【工事の目的】

鶴見川に架かる橋梁の間隔が広い新鶴見橋～末吉橋間(約1.5km)にて、

「防災機能の向上」

「親水空間としての魅力向上」

「生活利便性の向上」

を図るため、人道橋を整備する工事です。

【工事の概要】

工事名: (仮称)鶴見川人道橋下部工事

工事場所: 鶴見区矢向一丁目9番4号地先

工事期間: 令和3年9月下旬から令和4年5月末まで(予定)

作業時間: 8:00～17:00(昼間施工)

施工業者: 五洋建設株式会社



【 事業の概要 】

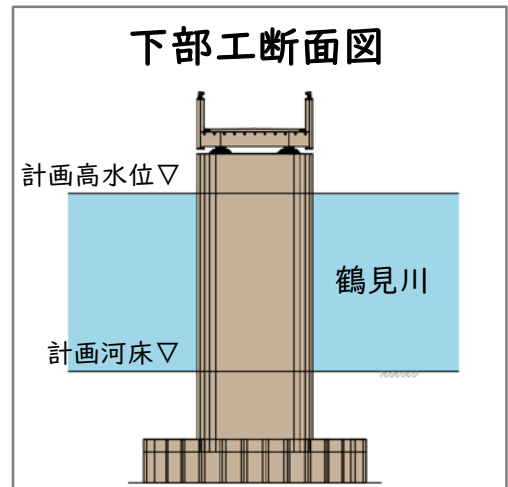
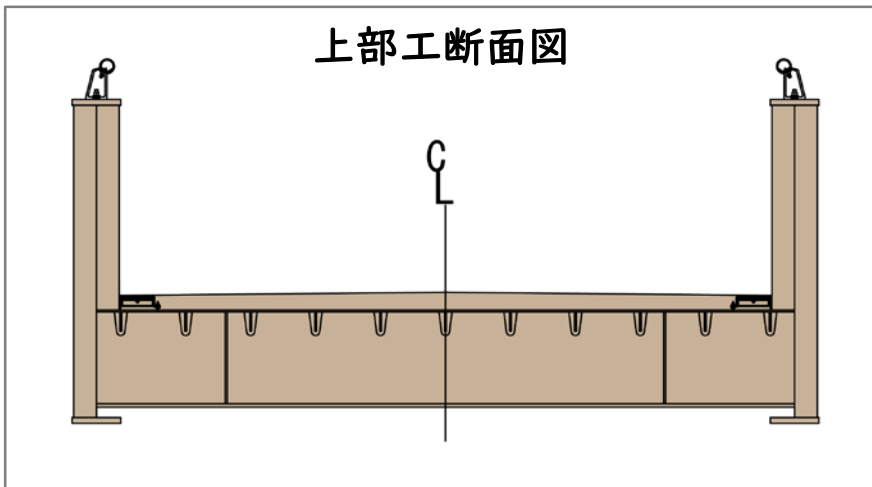
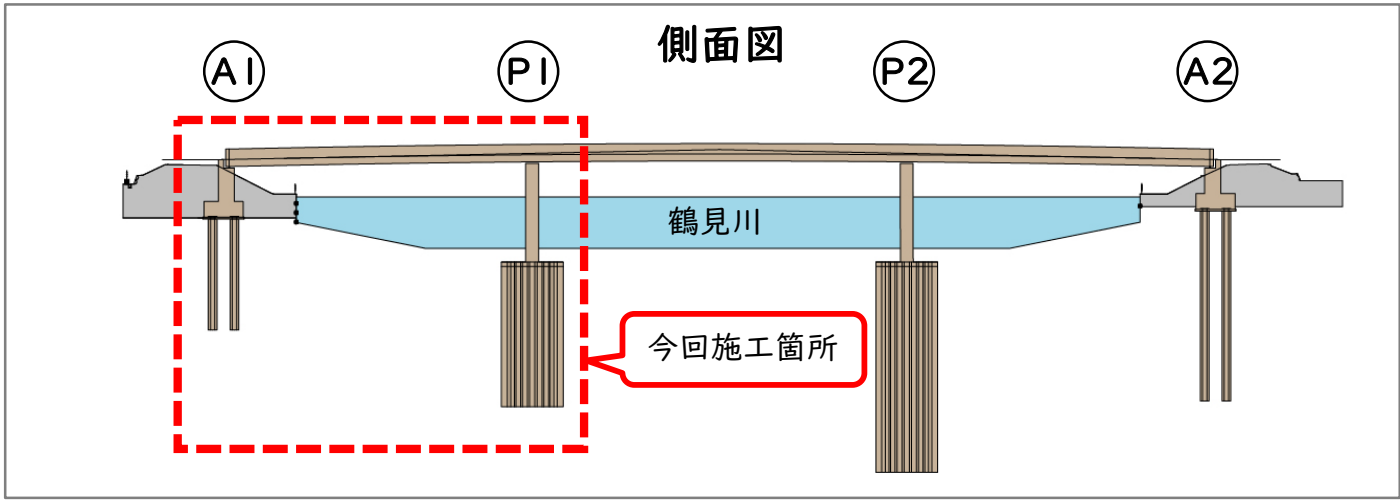
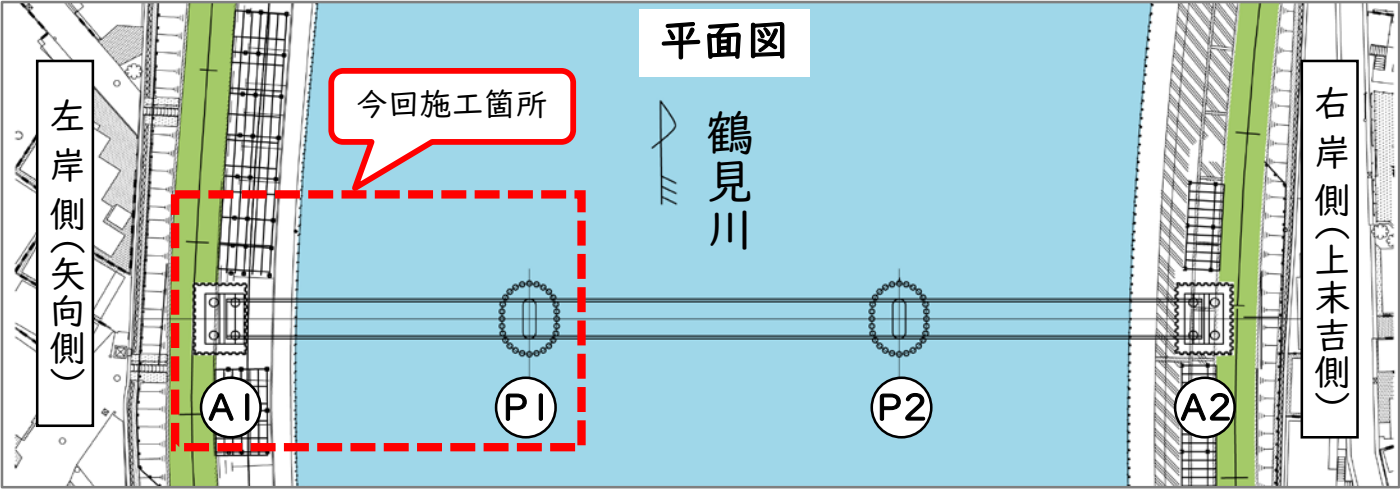
長さ: 113.9 m

上部工: 3径間連続中路式鋼版桁橋

下部工: 橋台(逆T式)、橋脚(壁式)

道路規格: 自転車歩行者専用道路

有効幅員: 4.0 m



【工事のステップ(概要)】

工事個所近隣※の家屋調査実施
(9/下旬～10/月上旬)



※工事エリアから概ね18m(掘削深さから算出)の範囲を対象とし、対象となった方には別途連絡します。

家屋調査結果の報告
(10/下旬)



工事・通行止め開始※(10月18日～)



※着工前に一部調査工等あり

堤防上

仮設の工事
橋台の工事

河川内

橋脚の工事

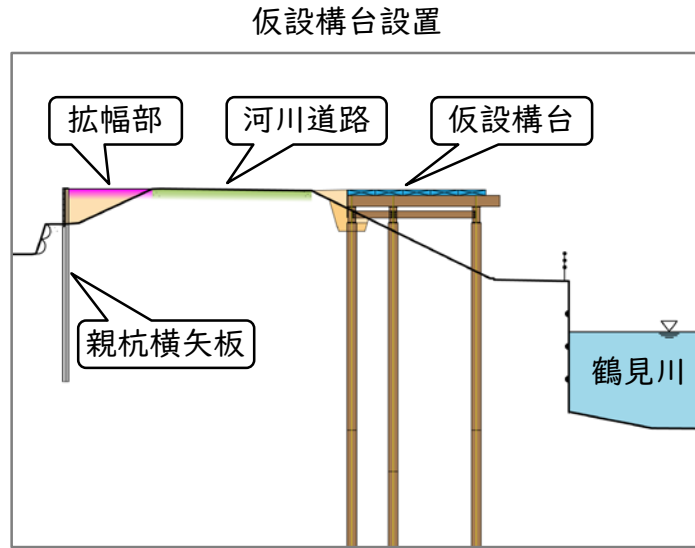


工事竣工・通行止め解除(5/31予定)

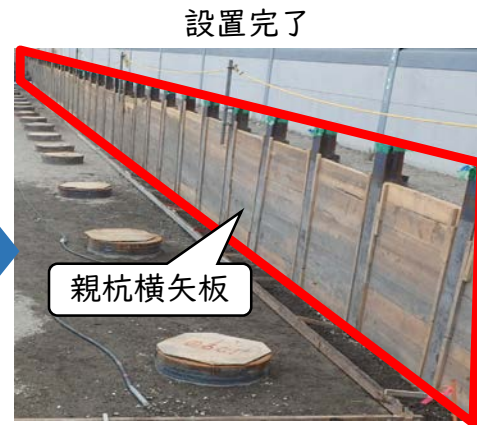
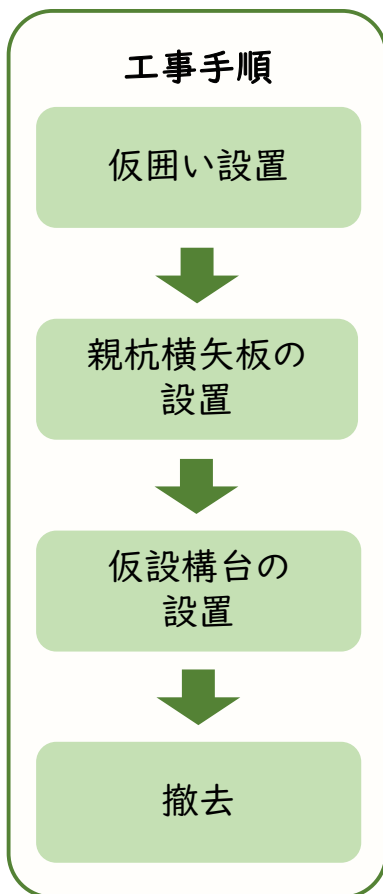
【各工種のステップ(概要)】

■仮設の工事

橋台の工事のため作業構台を設置します



※工事写真は別工事のものを使用



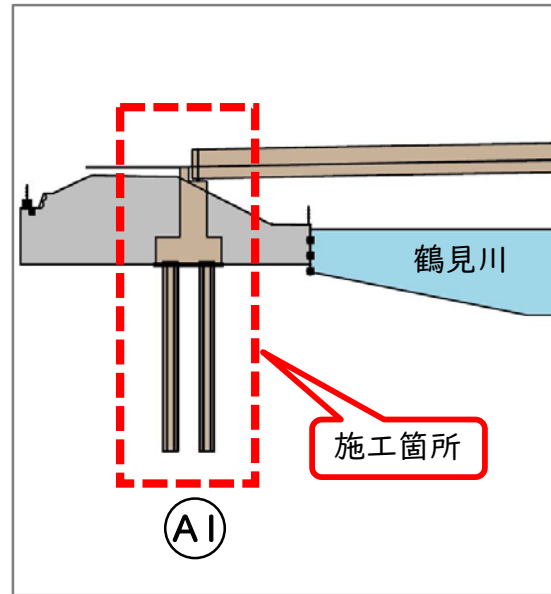
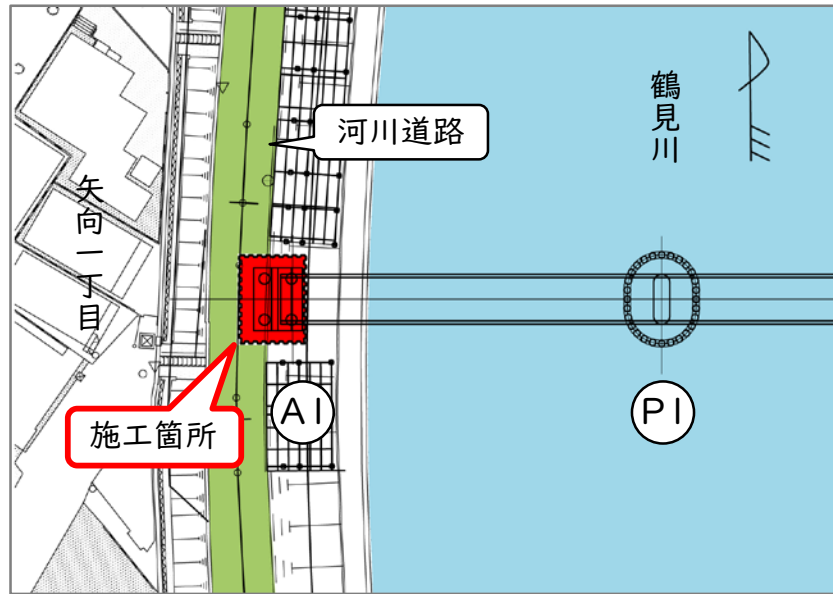
仮設構台 (※イメージ※)



【各工種のステップ(概要)】

■橋台の工事

鋼製の矢板で締切り、橋台を作ります



工事手順

鋼矢板の圧入



基礎杭の構築



掘削



コンクリート基礎の構築



埋戻し

鋼矢板圧入



鋼矢板圧入



基礎杭構築



コンクリート基礎構築

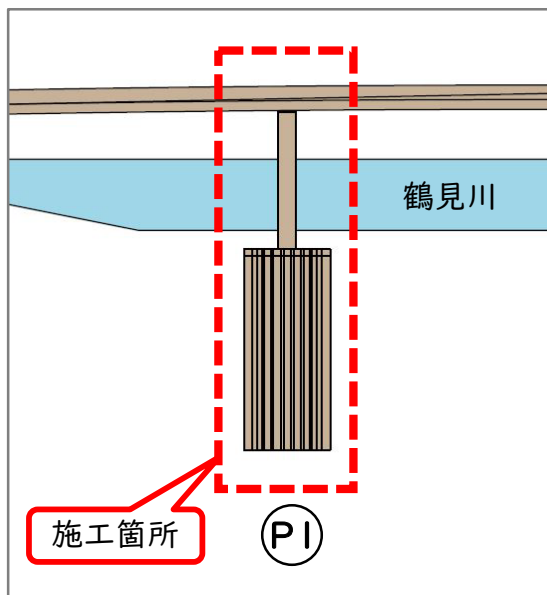
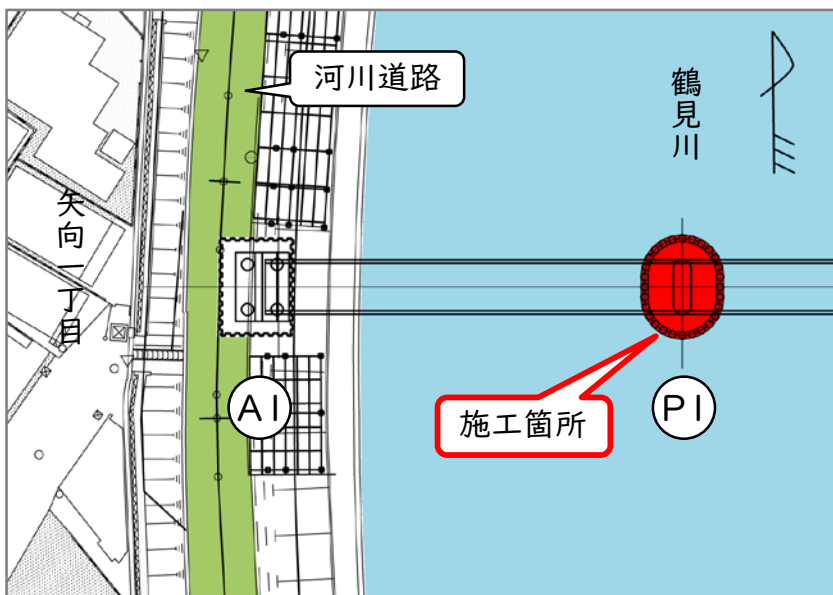


※工事写真は別工事のものを使用

【各工種のステップ(概要)】

■橋脚の工事

河川内を鋼製の矢板で締切り、橋脚を作ります(船上での工事)



工事手順

鋼管矢板の圧入

鋼管内等の掘削

基礎コンクリートの構築

橋脚の構築

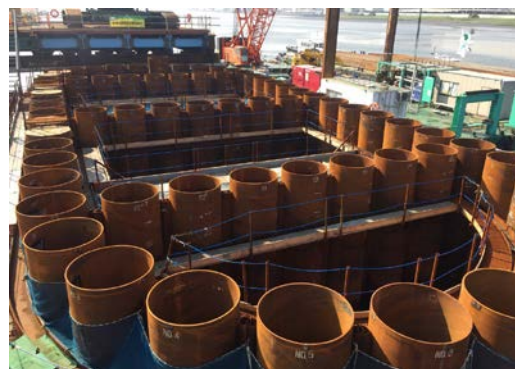
埋戻し

鋼管矢板切断・撤去

工事方法



鋼管矢板圧入完了



橋脚構築完了



鋼管矢板切断・撤去



※工事写真は別工事のものを使用

【施工上の留意点】

▶極力騒音・振動のない機械での施工

サイレントパイラーの使用



▶河川を汚さないように施工

オイルフェンスの使用



▶交通ルールの遵守

前後方左右確認の徹底



スピード遵守



【計画工程表】

工種	2021年(令和3年)				2022年(令和4年)				
	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
通行止め期間(予定)		※準備工の内容に応じて実施する可能性あり							
準備工	ボーリング調査・試掘等								
仮設工(堤防側)			仮囲い・構台設置					仮囲い・構台撤去	
仮設工(河川内)			係留設備設置					係留設備撤去	
橋台工				護岸復旧工					
橋脚工			基礎構築		躯体構築				

【工事・資機材搬入出に伴う通行止め】

工事中、皆様にはご不便をおかけしますが、通行止めのご理解と迂回のご協力をお願いいたします。

通行止め期間(予定)令和3年10月18日～令和4年5月31日

■常時通行止め区間

工事に伴い、右図の区間は常時通行止めとなります



■一時的通行止め区間(資機材搬入出時)

新鶴見橋から資機材の搬入出を行います。

安全確保のため、右図の区間は一時的(工事内容により終日の場合も有り)に通行止めとさせていただきます。

資機材搬入出時には誘導員および看板等による案内を行います。



【お問い合わせ】

●事業に関すること
横浜市 道路局 建設部 橋梁課

TEL:045-671-2796

FAX:045-662-3945

E-mail: do-kyoryo@city.yokohama.jp

●工事に関すること

五洋建設株式会社

TEL:045-461-4330

FAX:045-461-4331

事業に関する情報を横浜市道路局のHPに掲載しています

横浜市橋梁 主な事業

検索